

学校の桜の木

小川未明

青空文庫

ある、小学校の運動場に、一本の大きな桜の木がありました。枝を四方に拡げ、夏になると、その木の下は、日蔭ができて、涼しかったのです。

子供たちは、たくさんその木の下に集まりました。中には、登って、せみを捕ろうとするものがあれば、また、赤くなつたさくらんぼを取ろうとするものもありました。

桜の木は、ちようどお母さんのように、子供たちのするままに委していました。そして、子供たちの、楽しそうに遊ぶようすを見下ろしながら、いつも、にこにこ笑っているように見受けられました。

「太い木だなあ。」といつて、無邪気な子供たちは、小さな両手を開いて、太い幹に抱きついて、見上げるものもあれば、

「いい木だなあ。」と、いまさらのように、感心して、ながめるものもありました。年老つた木は、かわいらしい子供たちに、こんなことをされるのが、さもこのうえもなぐうれしそうでありました。

そのうちに、上のほうの子供たちは、六年の修業を終えて、学校から出てゆきました。そして、また、幼い子供たちが、新しく入ってきました。

その子供たちは、みんながしたように、この桜の木の下で遊びました。桜の木は、春にはらんまんとして、花が咲いたのであります。夏は、また日蔭ができて、そこだけは、どこよりも涼しい風が吹いたのであります。

こうして、長い月日のうちには、いろいろのことがあつたでありましょう。たとえば、きかん坊主の秀吉が、先生にいられて、この運動場に立たされたとき、彼は悲しくなつて、泣き出しそうになりました。

そのとき、木は、

「男が、泣くものでない。さあ、私のそばへおいで。」といつて、太い自分の体で秀吉を支えてくれました。

また、弱虫の正坊が、足を傷めて、体操を休んだときであります。

「さあ、この日蔭に入つて、おとなしくしていな。じきに、そればかりの傷はなおつてしまふだろう。はやく元気になつて、私の頭の上まで、登る勇気が出なければならん。ここへ上がると、それは、すてきだから。あちらに町が見えるし、また遠い村のお宮の屋根も見えて、いい景色だぜ。」と、桜の木は、やさしく、いつてくれたのであります。

あるときは、生徒たちが、二組に分かれて、競技をしたことがあります。そんな場

合あには、甲こうは赤あかい帽子ぼうしを被かぶり、乙おつは白しろい帽子ぼうしを被かぶりましたが、一方ほうは、桜さくらの木きの右みぎに、一方ほうは桜さくらの木きの左ひだりにというふうさくらに、陣取じんどりました。そのとき、桜さくらの木きは悠々ゆうゆうとして、右みぎをながめ、左ひだりが見下みおろして、さも、みんなの元氣げんきのいい顔かおを見るみのがうれしそうに、

「さあ、どちらも、しつかりやるのだよ。」と、いつているごとく見みえました。

しかし、まれには、いたずら子こがあつて、桜さくらの木きの皮かわをはいだりしました。木きは、そんなことをされても、だまつていましたが、木きを愛あいする他たの善ぜんりよう良せいとな生徒せいとたちは、けつして、だまつてはいませんでした。

「君きみ、そんないたずらをするものでないよ。木きが、かわいそうじゃないか。」と、いましめました。そう注意ちゆういされると、たいていの子供こどもたちは、ああわるかつたと思おもいました。

もし、それでも、その生徒せいとがいうことをきかないときは、先せん生せいが、ひどくその生徒せいとをしかりました。

「みんなのだいじな木きを、おまえは、傷きずつけていいのか。」と、おつしやいました。こうして、木きもまたみんなから愛あいされていたのです。

だが、ものには、盛さかんなときと衰おとろえるときとがあります。この桜さくらの木きも、年としを老とつたせいか、それとも、子供こどもたちに地ちを堅かたく踏ふまれたためか、今年ことしの夏なつは、たいへんに弱よわつたの

でありました。木が弱つたと知ると、学校じゆうは、たいへんなものでした。先生も、生徒も、小使いもみんな桜の木の身の上を心配しました。

「桜の木が弱っているから、この内へ入ってはいけません。」と、木のまわりにさくを造つて縄張りをして、札を立てました。そして、毎日、先生や生徒たちが、はだして、バケツに水をくんで、運んだりしました。

学校を卒業してしまつたものも、昔、自分のお友だちであつた、桜の木が弱つたというわさをきくと、心配をして、わざわざみまいにやってきましたので、桜の木は、もう一度、元気となつて、はやく、かわいらしい生徒さんたちを見守ろうと思つています。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 10」講談社

1977（昭和52）年8月10日第1刷発行

1983（昭和58）年1月19日第6刷発行

※表題は底本では、「学校《がっこう》の桜《さくら》の木《き》」となっています。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：仙酔ゑびす

2012年7月16日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

学校の桜の木

小川未明

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>